

第1回離島対策等検討会・議事概要

1. 日時: 2004年2月24日13時～15時

2. 場所: 日本自動車会館11階 (財)自動車リサイクル促進センター第1会議室

3. 出席者: 大杉委員、藤井委員

その他(財)自動車リサイクル促進センター事務局、経済産業省・環境省担当官が出席

4. 議題: ①「離島対策等検討会」の今後の進め方について

②自治体向け出えんに関する基本的な考え方について

5. 議事概要

※本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関する質疑については後日、議事録を公表いたします。

(1)各委員の紹介があった後、委員の互選によって藤井委員が座長に選出された。

(2)議題①について

「自動車リサイクル法の概要」「再資源化支援部3号・4号・5号業務の概要」

「離島対策等検討会の位置付けと今後のスケジュール」「資金管理業務規程・再資源化等業務規程」について資料3・4・5・6を使って事務局が説明。今後の審議スケジュール、離島対策等検討会の情報公開の在り方等、了解された。

(3)議題②について

「離島対策に関する現時点における検討状況」「不法投棄対策に関する現時点における検討状況」について資料7-1・7-2を使って事務局が説明。委員から下記意見があった。なお、次回検討会にて離島対策については要綱骨子で検討を行うこととなった。

<意見>

- 離島対策の出えんについて、地方負担分の考え方(地方にも一部は負担部分あり。地域実状に応じて地域毎に決める。)は地域毎の事情があるため、この考え方で問題ないとする。
- 離島対策について、パターン分けの意味を明確化して説明すべき。パターンによって出えん率やプライオリティをつけないという方向性は理解するので、そうであればその旨ももっと明確化すべき。
- 自動車リサイクル法において、不法投棄対策と離島対策との優先順位については定めていない。ただ、不法投棄対策は法施行直後にピークを迎え、自動車リサイクル法が普及した場合ほとんど無くなると考えられるが、離島対策は継続的に発生するので、不法投棄対策よりも離島対策優先の考え方で問題ないとする。

- 不法投棄対策への出えんに当たっては、離島での搬出事業等の取り組みがきちつとなされ、それを住民に周知しておくなど、離島でのシステムをしっかりとまわすことが肝要。また、発生した不法投棄車両がこのスキームで処理されるようなことは、離島対策の趣旨と異なるので、そうした点のチェックもしっかり行う必要がある。

6. 第2回離島対策等検討会議題について

次回検討会は下記について事務局より説明、審議を行う。

- ・地方公共団体への出えんに関する基本的な考え方
{業務フロー、要綱骨子(3号)}
- ・再資源化支援部における平成16年度離島・不法投棄対策関係事業計画(案)及び収支予算(案)

以上